

2025年度（令和7年度）幼稚園教育計画書

園番（20）福山市立あけぼの幼稚園

園長 我妻育子 印

教育目標	<p>明るくたくましく、心豊かに友だちとともに伸びゆく子どもを育てる （目指す自園の幼稚園像）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校以降の生活や学習の基盤としての「生きる力」の基礎を育成する～ 友達と元気よく遊び、つながりの大切さを学ぶ子ども <p>（目指す子ども像）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あたたかいつながりを感じあえる子ども ・ 根気強く最後までがんばる子ども ・ 話をよく聞くことができ、思いを表現する子ども
設定理由	<p>4歳児では、初めて集団生活を経験するこどもがほとんどで、母親と離れる事に不安感をもつこどもがいる。身近自立には個人差があり、自分なりにしようとする子もいれば、自らしようとしなないこどももいる。戸外で遊ぶことが好きで、遊び始めると、自分の好きな遊びを見つけてじっくり遊ぶ姿がある。5歳児はほとんどが進級児で、気の合う友だちと誘い合って遊ぶ姿がある。自分の思いを表現しにくく、関わりきれなかつたり、こだわりから思うようにならないことで奇声を発して遊びに入りきれなかつたりするこどももいる。</p> <p>少子化・核家族化などの社会状況の変化や遊びの変化（家庭での遊びは携帯ゲームや動画を見る）により、特定の人とのかかわりが主で、様々な人とのかかわりながら遊ぶ機会も少なくなっている。コミュニケーションについては、大人と個別で関わることはできても子ども同士の関わりが苦手だったり、遊びが続きにくかつたりするなどの実態がある。また、思い切り体を動かして遊ぶ体験や感動する実体験が少なく、遊びが始められずに戸惑っているこどももいる。</p> <p>保護者は、幼稚園教育に対して理解があり協力的である。なかには、我が子にどのように関わったらよいか、子育ての不安や悩みをもたれている方もいる。</p> <p>地域の人々の繋がりは強く、幼稚園の子どもにやさしく声をかけてくださり、活動にも温かい地域支援が得られ、人の優しさや温かさを感じながらかかわることが出来ている。</p> <p>このような状況から、園児には二年間の教育課程を通して、発達に即した生活の自立、意欲的に取り組みやり遂げようとする態度、ルールを守って生活したりする社会性、コミュニケーション力などが育つように取り組んでいくことが必要であると考え教育目標を設定した。</p>
教育指導の重点	<p>(1) 主体的に遊ぶ子どもを育てるための保育室・園庭の環境設定</p> <p style="padding-left: 2em;">○何を「やりたい!」と思っているのか見極め、子どもたちの「やりたい!」を引き出す工夫</p> <p>(2) 五感を通して体感・経験させる。(資質・能力の育成) 身体づくり</p> <p>(3) 「ことばでの表現、伝えあい」「相手の気持ちの受容」を育む視点</p>
研究テーマ	<p>心動かし、主体的に遊ぶ子どもの育成（個を生かした協同的な学び）</p> <p>～4歳児「思いを出しあって遊ぼう」5歳児「ちからをあわせて遊ぼう」～</p>
研究公開の計画	<p>公開保育の予定なし（園内研修の充実）</p>